

## 生徒 A の実態

周りから何かしてもらっても、「ありがとう」と言えない。



## 目指す姿

人に何かをしてもらった際、自分から「ありがとうございました」と言うことができる。  
(7か条の3)

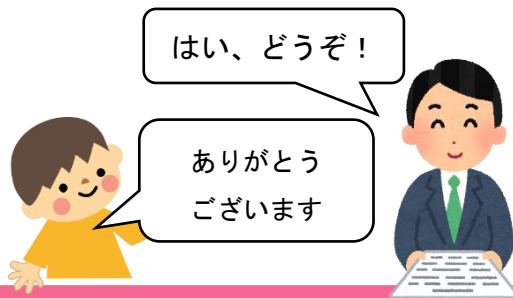
## 単元目標

各職業種の作業活動を通して働く意欲や態度を培い、将来の職業生活に必要な知識や技能を総合的に身に付ける。

## 手立て

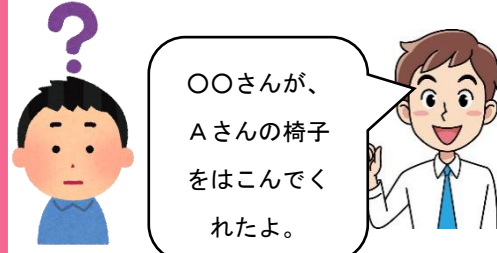
### 決まった声かけ

お礼を言う場面だと認識できるよう、物を渡す際に「どうぞ」と声掛けをする。



### 状況を伝える

お礼を言う場面を認識していない場合は、「〇〇さんが～してくれたね」と状況を伝える。



## 成果

### 【学校】

- 「どうぞ」という声掛けを共通して使うことで、「ありがとう」を言う場面を認識できた。
- 教師から、「〇〇さんが～してくれたね」と状況を伝えられると、お礼の言葉言うことができた。

### 【実習先】

- お礼を言う場面を決め、同じ流れを繰り返し行うことで、定着を図ることができた。

## 課題

### 【社会での般化に向けて】

- ・今後は物を渡す際に異なる声掛け（「はい」など）でも「ありがとうございます」と言えるような支援が必要。例えば、お礼を言うまで渡す側が物を離さないなど。